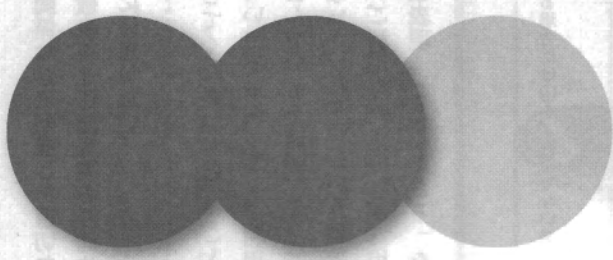


平成21年度 第1回

日本語検定

解答と解説

2級



◆使用場面や立場の上下関係などに配慮した適切な敬語の用法を問う問題である。尊敬表現と謙譲表現の混同や、尊敬語を重ねて用いる過剰敬語に注意したい。

一 問題文の「ご利用してください」は、「ご利用する」という謙譲表現を含んでいて不適切。②「ご利用いただき」も同様の形を含んでいて不適切。④「ご利用いただきください」も、「ご利用ください」という謙譲表現を含んでいて不適切。③「ご利用ください」が、相手から恩恵を受ける場合の尊敬表現「ご利用くださる」を用いてい

て適切である。

二 問題文の「ご出席いたし」は、「ご利用いたす」という謙譲表現で不適切。③はこれに尊敬の助動詞「れる」を付けているが、やはり不適切な表現である。「出席する」に尊敬の助動詞「れる」を付けた、④「出席され」が尊敬表現として適切である。②「ご出席になられ」は、「ご利用になる」という尊敬表現に、さらに尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語。

三 問題文の「通勤なさられて」は、尊敬語「なさる」に尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語で不適切。②「通勤なさって」が、適切な尊敬表現。③は、部長が通勤することで話し手が恩恵を受けるわけではないので、「いただいて」が不必要。④は、「いらつしやる」と「れる」を重ねた過剰敬語。

四 問題文の「お伺いしてさしあげられる」は、相手に恩恵を与える意味を表す「さしあげる」が不適切。②「お伺いできる」が、「お伺いする」という謙譲語に「できる」という可能の意味を加えた形で適切。③「お伺いなされる」は、「伺う」という謙譲語を「おこなされる」という尊敬表現に当てはめ、「なさる」を「なされる」という可能動詞形にした言い方で不適切。④「お伺いされる」の「される」は、「する」の尊敬語、あるいは「する」の受け身形であるから、いずれにしても不適切。

問1

① 一〜五のようなことを言うとき、——部分の敬語は適切でしょうか。適切である場合には①を、適切でない場合には②・③・④から選んで、番号で答え教えてください。

二級●2

一 このたびは、当ホテルをご利用していただきましてありがとうございます。

- ① 適切である
- ② ご利用していただき
- ③ ご利用ください
- ④ ご利用いたしてください

二 明日の高橋さんの披露宴に、課長はご出席いたしますか。

- ① 適切である
- ② ご出席になられ
- ③ ご出席いただき
- ④ 出席され

三 部長は、ご自宅からどのような経路で通勤なさられているのですか。

- ① 適切である
- ② 通勤なさって
- ③ 通勤なさっていただいて
- ④ 通勤していらつしやられて

四 今から社を出ますので、三時にはお伺いしてさしあげられると存じます。

- 「①(適切である) ②お伺いできる ③お伺いなされる ④お伺いされる」

五 課長がお住まいの市にある図書館に行ってみました。以前に比べてとても立派になられていましたね。

- 「①(適切である) ②ご立派になって ③立派になって ④立派になってくださって」



五 市の図書館という、特に敬語を用いる必要のないものに関する事なので、③「立派になって」という表現が適切。問題文の「立派になられて」と②「ご立派になつて」は、尊敬表現になっているため不適切。④は、図書館に「くださる」を用いているのが不適切。



- 一 ……④
- 二 ……①
- 三 ……②

◆職場などにおける適切な敬語表現を問う問題である。立場の上下関係が比較的はつきりしている組織社会では、円滑な人間関係を保つうえで、立場の上下や状況をよくふまえて、適切に敬語を用いることが望まれる。また、取引先など、社外の人に対しても、礼を失ふることのないよう、相手や場面にふさわしい敬語を用いることを心がけたい。

一 メンバーである自分が、プロジェクトのチーフと、その担当役員の行為について言うのであるから、ともに尊敬表現を用いなければならない。①は、担当役員の行為

問2

【】のようなとき、このように言うのがよいでしょうか。一〜三それぞれについて、最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

二級●4

一 「プロジェクトのメンバーのわたしが、チーフに」

- ① チーフ、担当役員がお呼びなされていらつしやいますので、すぐにおいでになってください。
- ② チーフ、担当役員がお呼びになつていらつしやいますので、すぐにお伺いしてください。
- ③ チーフ、担当役員がお呼びですので、すぐにお伺いになられてください。
- ④ チーフ、担当役員がお呼びですので、すぐにおいでになってください。

二 「課長のわたしが、課長に」

- ① 課長、駅前の郵便局まで出かけますので、何かご入りの物があれば買ってきてまいりますが。
- ② 課長、駅前の郵便局まで出かけますので、何かご入りの物があれば買ってきますが。
- ③ 課長、駅前の郵便局まで出かけますので、何かご入りの物があるなら買ってきてさしあげますが。
- ④ 課長、駅前の郵便局まで出かけますので、何かご入りの物がございませうらお買いになってまいりますが。

に対して「おしする」という謙讓表現を用いているので不適切。②は、チーフの行為に「お伺いする」という謙讓語を用いているので不適切。③は、チーフの行為に「お伺いなられる」という、謙讓語と尊敬語を結び付けた表現をしていて不適切。④が、それぞれについて「お呼びです」「おいでになる」という尊敬表現を用いていて適切である。

二 課長の側の事柄には尊敬表現を用い、課員である自分の側の行為には謙讓表現を用いる場合である。①は、課長の側に「ご入り用」という尊敬語、自分の行為に「まいります」という謙讓語を用いているので適切である。②は、「買ってきます」が謙讓表現になっていない。③は、謙讓表現がないのに加えて、「さしあげる」という相手に恩恵を与える表現があるので、上司に対して不適切な言い方。④は、自分の行為に「お買いになる」という尊敬表現を用いているので不適切。

三 相手の側の行為に尊敬表現、自分の側の行為に謙讓表現を用いる場合であるが、相手の行為が自分にとってありがたく、恩恵を受けたことを言い表さなければならぬ。①の「お招きなされた」は尊敬表現ではあるが、それだけでは自分に恩恵が及んだことが表現できていない。そのことを表すには、②③のように「お招きいただいた」か、④のように「お招きくださった」とするのが適切。そのうち、②が「ごちそうを頂戴いたしました」と謙讓語を用いており適切。③④は、自分の「食べる」

三 「卒論の指導教授宅に電話したところ、教授の夫人が出たので」

- ① 先日お招きなされたときには、「ごちそうを頂戴させていただきましたありがとうございますございました。」
- ② 先日お招きいただいたときには、「ごちそうを頂戴いたしましたありがとうございますございました。」
- ③ 先日お招きいただいたときには、「ごちそうを召しあがらせてくださいましてありがとうございますございました。」
- ④ 先日お招きくださったときには、「ごちそうを召しあがらせていただきましてありがとうございますございました。」



◆◆◆
という行為に尊敬語「召しあがる」を用いており不適切。

ア…× カ…○
 イ…○ キ…×
 ウ…× ク…○
 エ…○ ケ…○
 オ…× コ…×

◆銀行で、口座を開設しようとする客と行員との間のやりとりである。お互いに、礼を失することのない言葉遣いを心がけなければならない。特に、尊敬表現と謙讓表現の混同や過剰敬語に注意したい。

ア 「お物件」とは言わない。「ご物件」が適切。名詞に「お」や「ご」を付けて相手に対する敬意を表そうとする場合、和語には「お」、漢語には「ご」を付けることが多い。

イ 「承ります」が謙讓表現として適切。

ウ 自分が望む行為である「開設する」に、尊敬あるいは受け身の助動詞「れる」を付けていて不適切。「開設したいのですが」ならば適切。

エ 自行の窓口が「混雑している」ことを、謙讓語を用いて丁寧につけており適切。

オ 客の「待つ」という行為に「おくする」という謙讓表現を用いているので不適切。「お待ちいただく」ならば適切。

カ 「差し支えを」お差し支え」と尊敬表現し、「ないを」を「ございません」と丁寧に表示しており適切。

キ 自分が「待つことができる」ことに「おくになる」という尊敬表現を用いており、不適切。「待ちます」や「待てます」でよい。

ク 運転免許証を本人確認用の書類として「よい」かどうかの確認を、「よろしい」を用いて丁寧につけており適切。

ケ 自分の側の行為「見る」を謙讓語「拝見する」を用いて言っており適切。

コ 尊敬表現「おかけになる」に、尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語で不適切。「おかけになって」が適切。

問3

次の会話は、銀行の行員と客とのやりとりです。ア～コの——部分について、敬語などが適切に使われている言い方ならば○を、適切でない場合には×を記入してください。

【行員】 いらつしやいませ。ア お物件をイ 承ります。

【客】 定期預金の口座を、開設されたいのですが。

【行員】 ありがとうございます。ただ今、窓口はたいへん混雑しておりますして、十五分ほどお待ちしていた
 だくかと存じますが、カ お差し支えございませんでしようか。

【客】 かまいません。時間はありますので、お待ちになります。

【行員】 それでは、こちらの申し込み用紙にお名前とご住所のご記入をお願いいたします。……本日ご印鑑と、

ご本人確認用の書類が必要となりますが、お持ちでしょうか。

【客】 はい。運転免許証でよろしいですね。

【行員】 結構でございます。後ほど窓口で、拝見します。番号をお呼びしますので、どうぞそちらのソファアー
 に「おかけになられてお待ちください。

一～五のようなことを言うとき、——部分の言い方は適切でしょうか。適切である場合には○を、適切でない場合には×を解答欄に記入してください。

一 もう少し節約して暮らさないと、今年じゅうに目標金額がためない。

二 退院した母の面倒は、仕事をしながらでもわたしが見られますから、心配しないでください。

三 ここは、静かで雰囲気も良く、落ち着ける喫茶店ですね。

四 今度の出張は時間に余裕があるから、地元の名物料理を堪能してこれるかもしれない。

五 その機械については川口君が詳しいですから、調整させれますよ。

問4 ● 解答

- 一 …… ×
二 …… ○
三 …… ○
四 …… ×
五 …… ×

解説

◆可能表現の形式について問う問題である。五段活用動詞では、「書く↓書ける」「泳ぐ↓泳げる」のように、可能動詞を用いるのが一般的であるが、上一段活用動詞・下一段活用動詞・力行変格活用動詞では「未然形+られる」で言うのが規範的である。ところが、「見られる」「食べられる」「来られる」を、「見れる」「食べれる」「来れる」と言う、いわゆる「ら抜き言葉」が、世代を超えて浸透してきている。また「読める」を「読めれる」と言う「れ足す言葉」も、無視できない勢いで広まりつつある。規範的な言い方を心がけたい。

一 「ためる」はマ行下一段活用動詞であるから、「られる」を用いて「ためられ(ない)」と言うのが適切。「ためれ(ない)」は、ら抜き言葉である。

二 「見る」はマ行上一段活用動詞であるから、「られる」を用いた「見られ(ます)」で適切。

三 「落ち着く」は、カ行五段活用動詞であるから、可能動詞を用いた「落ち着ける」で適切。

四 「堪能してくる」の「くる」は、カ行変格活用動詞の「くる(来る)」なので、「られる」を用いて「堪能してこられる」と言うのが適切。「堪能してこれる」は、ら抜き言葉である。

五 「調整させる」は、サ行変格活用動詞「調整する」に使役の助動詞「せる」が付いたもので、「せる」は下一段活用をするため、可能の助動詞を接続させるときには「られる」を用いるのが適切。したがって、「調整させられ(ます)」が正しく、「調整させれ(ます)」は、ら抜き言葉である。

- 一 … ×
- 二 … ○
- 三 … ×
- 四 … ○
- 五 … ×

◆使役の助動詞「せる」「させる」の使い分けは、五段活用動詞／サ行変格活用動詞＋「せる」、上一段活用動詞／下一段活用動詞／力行変格活用動詞＋「させる」が正しい用法であるが、近年、前者の「せる」の前に「さ」を入れる、いわゆる「さ入れ言葉」が目立つようになった。本来の正しい用法を身につけたい。

一 「引つ張る」は、ラ行五段活用動詞であるから、「引つ張らせ(て)」が正しい。「引つ張らさせ(て)」は、さ入れ言葉。

二 「手放す」は、サ行五段活用動詞であるから、「手放させ(ない)」は適切な言い方。この「さ」は、未然形活用語尾である。

三 「伺う」はワ行五段活用動詞であるから、「伺わせ(ます)」が正しい。「伺わせ(ます)」は、さ入れ言葉。

四 「省みる」は、マ行上一段活用動詞であるから、「省みさせる」は適切な言い方。

五 「加筆する」は、サ行変格活用動詞であるから、「加筆させ(て)」が正しい。この「さ」は、未然形活用語尾である。「加筆させ(て)」は、さ入れ言葉。

問 5

一〜五のようなことを言うとき、――部分の言い方は適切でしょうか。適切である場合には○を、適切でない場合には×を解答欄に記入してください。

一 テーブルクロスがそちらに寄り過ぎておりますので、こちらに引つ張らさせていただきます。

二 我が家の借金を返すためには、夫に愛車を手放させないといけない。

三 明日、弊社の松山を伺わさせていただきますので、よろしく願います。

四 土橋君には、少し自分の行動を省みさせる必要があるな。

五 この取り扱い説明書の文面では難しいので、もう少し分かりやすくなるよう加筆させていただきます。

格助詞「の」を意味・用法の観点からA・B・Cの三類に分けました。それぞれの類にあげた例文を参考に、①～⑦をA・B・Cのいずれかに分類してください。

Aの類

それは私の書類です。

Bの類

花の咲く道を歩いた。

Cの類

社長の浜口さんが来られた。

- ① 机の上₁にいたずら書きをしたのはだれだ。
- ② お兄さん₁の和夫君は、今どちらにお住まいですか。
- ③ 福岡₁の友人と、下関で落ち合う予定だ。
- ④ 頬₁の赤い子どもは、実に健康そうだ。
- ⑤ 医者₁の兄が働く病院でみてもらおう。
- ⑥ 文学部₁の出身なので、経済についてはあまり分からない。
- ⑦ 祖父₁は一見、風采₁の上がらない人物だった。

問 6 ● 解答

- Aの類 … ① ③ ⑥
- Bの類 … ④ ⑦
- Cの類 … ② ⑤

解説

◆格助詞「の」の意味・用法は多岐にわたるが、ここでは、その中から三種類を取り上げた。

・ Aの類は、後の体言にかかってさまざまな意味を表す(連体修飾格)用法である。よく「所有格」と言われることがあるが、所有だけでなく、所属・所在・性質など多くの意味を表す。

・ Bの類は、後の用言などにかかって、その動作や状態などの主体であることを表し(主格)、「が」に言い換えられる用法である。

・ Cの類は、「の」で結ばれる前後のものが同じ存在であり(同

格)、「〜である」と言い換えることが可能な用法である。

- ① 「机の上」は、「机」の一部としてそれに属しているものであるから、所属を表すAの類の用法である。
- ② 「お兄さんである和夫君」と言えるので、Cの類。
- ③ 「福岡にいる友人」ということで、所在を表すAの類の用法である。
- ④ 「赤い」という形容詞にかかって、「頬が赤い」という意味なので、Bの類。
- ⑤ 「医者である兄」と言えるので、Cの類。
- ⑥ 出身が文学部であると言っているため、性質を表すAの類の用法。
- ⑦ 「上がら(ない)」という動詞にかかって「風采が上がる」という意味なので、Bの類。

- 一 … ②
- 二 … ①
- 三 … ③
- 四 … ①
- 五 … ③
- 六 … ①

◆類義語と対義語について問う問題である。個々の語の意味・用法をよく考えて、適切なものを選ぶようにしたい。

一 「座視」は、そばで見ているだけで、関係をもとうとしないことであるから、黙って見ていることを表す、②「黙視」が意味の近い言葉。「傍観」も類義語である。①「注視」は、注意してじつと見ること、③「巡視」は、警戒や監督のために見回ること、④「軽視」は、物事の価値などを軽く見ること、いずれも類義語には当たらない。

二 「傑出」は、多くの中で飛び抜けて優れていることであり、同様の意味を表すのは、①「卓越」である。②「僭越」は、自分の地位や立場を越えて、出過ぎたことをすること。多く自分の行為について、謙遜の意味を込めて用いる。③「激越」は、感情が激しく高ぶって荒々しい様子を表す。④「優越」は、他と比べて優れていることであるが、「飛び抜けて」という意味は含まれない。

三 「潤沢」は、物が豊かにあること、また、うるおいやつやのあることを表す。前者の意味で、③「豊富」が類義語である。①「富裕」は、財産が多くあつて生活が豊かなことを意味する。②「余裕」は、限度までにまだ余りがあること、ゆとりがあること。経済的なことから精神的なことまで、幅広く使う言葉である。④「豪華」は、贅沢で派手なこと。

四 「代署」は、本人に代わつて署名すること、また、その署名のこと。自分で署名することを意味する、①「自署」が対義語になる。②「私署」は、公的な立場ではなく、私人として署名すること、また、その署名。④「連署」は、同じ文書に二人以上の人が署名すること、また、その署名。③「本署」は、警察署や消防署などで、管轄の域内の支署や分署を統轄する役所のこと。

五 「厭世」は、この世に生きていることをいやだと思ふこと。反対の意味になるのは、人生を楽しめるものだと思ふことを意味する、③「楽天」である。「厭世」と「楽天」

問7

「」の中の言葉に対して、一～三は意味の最も類似した語(類義語)を、四～六は対照的な意味を表す語(対義語)を選んで、番号で答えてください。

〈類義語〉

一 【座視】

- 〔 ①注視 ②黙視 ③巡視 ④軽視 〕

二 【傑出】

- 〔 ①卓越 ②僭越 ③激越 ④優越 〕

三 【潤沢】

- 〔 ①富裕 ②余裕 ③豊富 ④豪華 〕

〔対義語〕

四 〔代署〕

- 〔①自署 ②私署 ③本署 ④連署〕

五 〔厭世〕

- 〔①極楽 ②楽勝 ③楽天 ④安楽〕

六 〔露骨〕

- 〔①婉曲 ②曖昧 ③茫洋 ④朴訥〕

は、多く「主義／家／的」などを伴って対義的に用いられる。②「楽勝」は、苦勞せず楽に勝つこと。④「安楽」は、苦痛や苦勞がなく、安らかなこと。①「極楽」は、阿弥陀仏のいる「極楽浄土」の略で、苦しみのない安楽の世界のことである。そこから、この上なく楽しい状態や場所のたとえとしても使われる。

六 「露骨」は、隠さずあからさまな様子の意味するので、遠回しで穏やかな様子の意味する、①「婉曲」が対義語となる。多く、言いたいことなどを表現するときの様子について対義的に用いられる。②「曖昧」は、物事がはっきりしない様子を表す言葉。③「茫洋」は、広々として限りない様子。④「朴訥」は、飾り気がなく口数が少ないこと。「朴訥な人柄」などと用いる。



- 一 ……④
- 二 ……②
- 三 ……③
- 四 ……①

◆文脈に合った適切な語を選ぶ問題である。思い込みやうる覚えで誤った使い方をすることのないように、個々の語の意味を正しく理解し、的確な用法を身につけるようにしたい。

……………

一 手紙や品物を受け取ることの漢語的表現として、④「落手(する)」または「落掌」がある。主に手紙文などで使われる語である。①「配送」は配達と発送をすること。②「会得」は、内容や知識などを理解して自分のものにする。③「保有」は、自分のものとして持ち続けることをいう。

問8

一～四の()に入る言葉として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

二級●12

一 昨日お送りくださいました書籍、本日()いたしました。

- [① 配送 ② 会得 ③ 保有 ④ 落手]

二 そんな()根性を出すな。武士は食わねど高楊枝というだろう。

- [① さびしい ② さもしい ③ さわがしい ④ さしでがましい]

三 ここならば人が来ないから、君と()話し合うことができる。

- [① 心にもなく ② 心もとなく ③ 心置きなく ④ 心配りなく]

四 今日はお客が()にやっできて、休む間がなかったよ。

- [① 五月雨式 ② 芋蔓式 ③ 泥縄式 ④ 心太式]

二 「武士は食わねど高楊枝」とは、物がなくても足りているように体面を保つようなありさまを言い、その反対の意地汚さを表すのが、②「さもしい」である。よく「さもしい根性」などと使う。④「さしでがましい」は、でしゃばりで、よけいなことと感ぜさせること。①「さびしい」、「さわがしい」同様、根性を形容する言葉としてはそぐわない。

三 人が来ないから遠慮なく話し合えるというのだから、気兼ねや遠慮をしないで思うままにという意味を表す、③「心置きなく」が適切。①「心にもなく」は、望まない、本心ではない様子で、という意味を表し、②「心もとなく」は、頼りない、不安な様子で、という意味を表す。④「心配りなく」は、心遣いや配慮をしないで、という意味。

四 休む間がなかったということは、客が連続してとぎれることがなかったということなので、①「五月雨式」が適切。「五月雨」は梅雨のこと、断続的にいつまでもだらだら続く状態を、このように言い表す。②「芋蔓式」は、ある事をきっかけにして次々に関係のある物事が得られるときの表現。③「泥縄式」は、事が起こってから慌ててその用意をするような状態を表す。④「心太式」は、心太が後から押されて自動的に前に出るように、苦労もなく次の段階に進む場合の表現。これらの「式」は、あるやり方や物事の起こり方を表す接尾語といえる。

一～四の()に入る言葉として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

一 超一流の選手は、()の才に加えて人一倍の努力をしているものだ。

- 〔① 天分 ② 天佑 ③ 天恩 ④ 天賦〕

二 彼女の()は四国松山の旧家で、曾祖父は夏目漱石の教え子だったらしい。

- 〔① 出自 ② 出立 ③ 出来 ④ 出奔〕

三 明治時代には、和風建築と洋風建築を()した屋敷が多く造られた。

- 〔① 屈折 ② 曲折 ③ 折衷 ④ 折衝〕

四 この不況で、先の生活に()を抱いている人が多くいる。

- 〔① 懸案 ② 懸念 ③ 懸想 ④ 懸垂〕

問 9 ● 解答

- 一 …… ④
- 二 …… ①
- 三 …… ③
- 四 …… ②

解説

◆ 同じ漢字が含まれている熟語の中から文脈に合った適切な語を選ぶ問題である。常套的・慣用的に結び付くものがあることに注意したい。

一 慣用的に「くの才」の形をとるのは、④「天賦」で、天から与えられたという意味。「天与」ともいう。①「天分」は、この一語で「天賦の才」と同じ意味になる。②「天佑」は、天の助け。③「天恩」は、天の恵み、または、天子・天皇の恩のこと。

二 生まれや出どころのことで、人について言う場合、特に家柄のことを指すのが、①「出自」であり、これが適切。②「出立」は、旅に出ること。③「出来」は、事件が発生することや、製品などができあがること。④「出奔」は、住んでいる家や地域からよそに逃げ出すこと。

三 異なったものの良いところを取り合わせてまとめることを、③「折衷」といい、特に問題文のように「和洋折衷」として用いられることが多い。①「屈折」は、折れ曲がることであるが、「屈折した感情」のように、精神的なことについても用いられる。②「曲折」は、折れ曲がったり曲がりくねったりしていることで、物事の入り組んだ事情についても、「紆余曲折を経て」などと用いる。④「折衝」は、相手と駆け引きをして問題の解決を図ること。

四 心配や不安、気がかりを表す言葉である、②「懸念」が当てはまる。名詞の場合は多く「懸念を抱く」という慣用表現で用い、動詞の「懸念する」も用いられる。①「懸案」は、前から問題になっていてまだ解決されていない事柄のこと。③「懸想」は、古い言い方で、異性におもいをかけ恋慕うこと。④「懸垂」は、まっすぐ垂れ下がることや、鉄棒にぶら下がって身体を上下させることをいう。

- 一 …… ②
- 二 …… ③
- 三 …… ①
- 四 …… ①

◆ 日常何気なく使っている語の適切な用法を問う問題である。思い込みや勘違いで、誤った意味の理解をしている言葉は意外に多い。理解面では、場面や文脈の助けを借りて、当たらずといえども遠からずといった解釈をしていても、適切に使用すると自信が持てないといったことがよくある。正しい意味の理解と同時に適切な使用を心がけたい。

一 【かろうじて】…「辛くして」が転訛したもので、ぎりぎりのところで、どうにか、何とか、という意味を表すので、②の使い方が適切。①は、おおむねという

問10

一〜四の見出しに掲げた言葉を最も適切に使っているのはどの文でしょうか。番号で答えてください。

二級 ● 14

一 【かろうじて】

- ① 君は今度の人事に不満だろうけど、かろうじて世の中はそんなものだ。
- ② 今日が残業で遅くなってしまったが、かろうじて終電に間に合った。
- ③ この仕事は予定より**ずいぶん早く**、かろうじてできあがった。

二 【あえなく】

- ① 先制してあえなく喜んだのもつかの間、すぐに逆転されてしまった。
- ② 簡単に負けるだろうという予想に反して、あえなく抵抗して**がんばり**続けた。
- ③ 応援していた母校のチームは、あえなく一回戦で敗退して**しまった**。

三 【渡りをつける】

- ① 仕事を受注するために、まず、担当部署の課長に渡りをつけることから始めよう。
- ② 早速先方と、明日の夜に渡りをつけるとは、たいしたものだ。
- ③ 稚内への急な出張が決まり、飛行機の切符がとれるか心配だったが、札幌からの乗り継ぎで渡りをつけることができた。

意味の「概して」であれば当てはまる。③は、予定より「ずいぶん早く」できあがったのだから、「かろうじて」の使い方としては不適切。

二 【あえなく】…形容詞「**敢えない**」の連用形だが、「あえなく(も)」の形で副詞的に用いることが多い。もちろん、あつげなくもという意味で、③の使い方が適切。①②のような使い方はしない。

三 【渡りをつける】…「渡りをつける」は、目指すことを実現するために、面識のない相手と交渉できるような関係をつけること。したがって①が適切。②は、「明日の夜に」とあるので、「会う約束を**する**」などが当てはまる。③は、ある場所へ行くための交通の手段を確保することを言っているが、そのようなことを「渡りをつける」とは言わない。

四 【ものが分かる】…物事の道理や人情の機微がよく分かっていることを言い、①の使い方が適切。②のように仕事に関する知識に明るいことや、③のように何かを見抜く能力などに使う言葉ではない。

四【ものが分かる】

- ① うちの部長はものが分かるからね、私的な相談もしやすいんだ。
- ② うちの部長はものが分かるからね、仕事に関しては何を聞かれても答えられるよ。
- ③ うちの部長はものが分かるからね、食べた料理の素材をすぐに当ててしまうんだ。

- ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑨ ⑭ ⑯ ⑳

◆漢字の誤記や、送り仮名、仮名遣いなどの誤りを指摘する問題である。文脈に合った適切な漢字の使用、規範的な送り仮名や仮名遣いを身につけるようにしたい。送り仮名については、「常用漢字表」（昭和五十六年 内閣告示）および「送り仮名の付け方」（昭和四十八年 内閣告示）を基準としている。

② 汚洗されて…汚されて、すなわち「汚れに染まって」の意で、「汚染されて」が正しい。

③ 敗けて…「まける」は、「負ける」が正しい。常用漢字表では、「敗」に「まける」という訓は掲げられていない。

④ 絞ぼつて…五段活用動詞の送り仮名として、「絞つて」が正しい。

⑤ お話します…「話す」という行為を「お話しします」という謙讓表現にしているのので、「お話しします」が正しい。

⑦ 有り方…ありさまや存在の仕方の意で、「在り方」が正しく、この場合に「有」は用いない。

⑨ 品種改良…「品種改良」が正しい。

⑭ 自生…農業を使用することを抑えるという意味で、「自制」が正しい。

⑯ 解決作…「解決するための策」であるから、「解決策」が正しい。

⑳ 十々…十二分という意味を表す「重々」が正しい。

問11

次の文章は、農業問題についての講演の録音テープを文字化したものの一部です。清書するときになって見てみると、漢字・送り仮名などについての誤りがありました。直すべき不適切なものを [] からすべて選んで、番号で答えなさい。

二級 ● 16

よく、輸入された農作物は農業に汚洗されていて危険だという話が出ますが、国産の農作物も、農業まみれという点では敗けてはいません。今日は、そうになってしまう原因のうち、一つに話題を絞ぼってお話します。

まず、農業使用に関しては、消費者の過大な要求が重要な問題点になっているということを認識してもらいたいです。これが出発点となります。

言うまでもなく、現在の農作物は商品ですから、消費の動向によってその生産の有り方も左右されることになります。「おいしい」だけでなく、「食べやすい」「扱いやすい」ということを、消費者が求めることに大きな原因があるのです。

つまり、そういった点が商品としてのポイントとなるならば、農家が品種改良によってそのような作物を作ろうとするのは当然なのです。そして、その反面で病虫害に強いなどの性質は軽視されてしまいます。そうなれば、その結果として農業が大量使用されるようになってくるのは回避できないことでしょう。

したがって、農業使用の自生に向かっての根本的な解決作の一つは、消費者が本来の農作物の味に慣れ、また、料理の工夫によって、おいしく食べやすいものにする努力をすることにあります。扱いやすさを求めて、形のよい野菜でないと思わないなどは、あるまじきことなのです。

とにかく、農業問題は、農家よりもまずは消費者側の問題としてとらえるべきだということを、十々理解してください。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| ① 輸入された | ② 汚洗されて | ③ 敗けて |
| ④ 絞ぼって | ⑤ お話します | ⑥ 過大な |
| ⑦ 有り方 | ⑧ 左右される | ⑨ 品種改良 |
| ⑩ 反面 | ⑪ 病虫害 | ⑫ 大量使用 |
| ⑬ 回避できない | ⑭ 自生 | ⑮ 根本的な |
| ⑯ 解決作 | ⑰ 工夫 | ⑱ あるまじき |
| ⑳ 消費者側 | ㉑ 十々 | |



一〜五の——部分を漢字を使って書くとき、最も適切なものを選んで、番号で答えてください。適切なものがないときは、④を選んでください。

一 あの作家はカサクながら、良い作品を多く書いている。

- 〔 ① 家作 ② 佳作 ③ 寡作 ④ (適切なものがない) 〕

二 地位が上がると責任がカジユウされるので、適度に息抜きする時間を作ることも大切だ。

- 〔 ① 加重 ② 過重 ③ 荷重 ④ (適切なものがない) 〕

三 「沈黙は金、雄弁は銀」とは、蓋しシゲンである。

- 〔 ① 至言 ② 始原 ③ 資源 ④ (適切なものがない) 〕

四 与えられたシフクも尽きたようなので、このあたりで筆をおきたい。

- 〔 ① 私腹 ② 雌伏 ③ 私服 ④ (適切なものがない) 〕

五 我が社の社長のシンボウ遠慮は相当なもので、初めは何のためにやっているのか分からなかったことが、後になって効果を発揮する。

- 〔 ① 信望 ② 深謀 ③ 辛抱 ④ (適切なものがない) 〕

17 ● 二級

問12 ● 解答

- 一 …… ③
二 …… ①
三 …… ①
四 …… ④
五 …… ②

解説

◆ 同音異義語の中から、文脈に合った語を選ぶ問題である。文の意味をよく考え、それになかった語の選択、漢字表記ができるように目ごりから心がけたい。

一 制作数が少ないことを意味する、③「寡作」が正答。問題文後半の「良い作品」(「選外佳作」という意味ではない)に当たるのが②「佳作」であり、この文は、作品の数は少ないが、佳作が多いことを言っている。①「家作」は、作った家のことであるが、主に収益をあげるための貸家の意で用いられる。

二 ①「加重」は、重さを加えること、②「過重」は、度を超えて重い状態や負担がかかる様子のこと、③「荷重」は、荷物の重さのこと。この三つの語は品詞性が違っていて、①は、「加重する」となる動詞、②は「過重だ」となる形容動詞、③は名詞であることに注目したい。問題文は「カジユウされる」なので、①が正答になる。もともととの重さに、さらに重さが加えられるという意味である。

三 人の世の真理や物事の本質を適切に言い当てている言葉の意味する、①「至言」が正答。②「始原」は、物事の起り。③「資源」は、自然から得られて産業などのもとなる物質のこと、人についても言うことがある。

四 定められた原稿などの分量を意味する「紙幅」が当てはまるので、④が正答。①「私腹」は、自分の利益、財産のことで、「私腹を肥やす」などと使う。②「雌伏」は、力を養いながら、将来活躍する機会が来るのをじつと待つこと。③「私服」は、勤務先や学校などで定められた制服ではない、個人的な服のこと。

五 ②を用いて「深謀遠慮」という四字熟語になる。先のことを深く考えたばかりごとのことである。①「信望」は、人々の信用と人望のこと。③「辛抱」は、辛いことをじつと我慢して堪え忍ぶこと。

- 一 …… ④
- 二 …… ①
- 三 …… ②
- 四 …… ④

◆熟語の語構成を問う問題である。構成要素間の意味関係をとらえることは、言葉の正しい意味理解と適切な使用のうえで大切なことである。例えば、「非常識」と「非常線」は構成が異なるといったことである。

一 【速報】…「速く報じる」で、「速」が「報」の連用修飾(副詞的)の働き。また、「速い報」と取って、「速」が「報」の連体修飾(形容詞的)の働きと見ることもできる。どちらにしても上から下にかかる関係。同様なのは、④「急告」で、「急いで告げる」または「急な告(知らせ)」である。①「会見」は、「会(あう)」

問13 一～四の【】の熟語と同じ構成(成り立ち)のものを選んで、番号で答えてください。四は、上の二字と下の二字をそれぞれ一つの要素として、その要素や二つの関係を考えてください。

一 【速報】

- 【】① 会見 ② 登場 ③ 遅延 ④ 急告

二 【雪辱】

- 【】① 謝罪 ② 反省 ③ 後援 ④ 議席

三 【無邪気】

- 【】① 不信感 ② 非公式 ③ 否定的 ④ 未曾有

四 【問題発言】

- 【】① 言語明瞭 ② 意味不明 ③ 無知蒙昧 ④ 通常国会

と「見(まみえる)」が似た意味で、類義語の並列関係。
 ②「登場」は、「場に登る」で、「登山」などと同様に、下が上の表す動作を行う対象や場所とでも言うべき関係。
 ③「遅延」は、「遅(おくれる)」と「延(のびる)」という類義語の並列関係。

二 【雪辱】…「辱めを雪ぐ」で、下が上の表す行為の対象となる関係。①「謝罪」が、「罪を謝する」で同様の関係である。②「反省」は、「反(かえる)」と「省(かえりみる)」が類義語関係。また、「反(かえり)」と「取れば、上が下を連用修飾する関係。③「後援」は、「後ろから援ける」で、上が下を連用修飾する関係。④「議席」は、「議する席」で、上が下を連体修飾する関係。

三 【無邪気】…否定語を作る要素には、あることを打ち消したり、くがよくないという意を表したりする「不」、くが当たらないという意を表す「非」、くが存在しないという意を表す「無」、まだくでないという意を表す「未」、同意しない、そうではないという意を表す「否」などがある。語構成としては、「無邪気」は、「邪気(悪意)が無い」と、二字熟語から上の否定要素に返る関係。②「非公式」が、「公式に非ず」ということで同じ関係である。①「不信感」は、「不信」な「感情」、③「否定的」は、「否定」する「的(ような)」で、いずれも否定要素を含む二字熟語に一字を加えた構成。④「未曾有」は、「いまだ曾て有らず」と、上から一字ずつ読んだ後に上に返る特殊な関係。

四 【問題発言】…「問題である発言」で、上の二字が下の二字を連体修飾する関係。④「通常国会」が、「通常の国会」で同じ関係。①「言語明瞭」は、「言語が明瞭(である)」で、上の二字が主語で下の二字が述語の関係。②「意味不明」も、「意味が不明」で、主語述語関係。③「無知蒙昧」は、「無知」と「蒙昧」が、類語関係。

一〜四について、【】に掲げた漢字が使われている——部分の読み方を、平仮名で解答欄に記してください。

一 【煽】

- ア 選手たちを煽って競争するよう仕向けるのも、チームの監督の一つの手だ。
イ この騒ぎを煽動した者は、陰に隠れてなかなか表に出てこない。

二 【滲】

- ア 敗訴を報告する原告側弁護士の言葉には、悔しさが滲み出ていた。
イ 禁煙という風潮が世の中に滲透してきたのは、ここ四半世紀くらいのことだ。

三 【埃】

- ア 去年買ったばかりのパソコンが、部屋の隅で埃をかぶっているのはもったいない。
イ 子どもを世の中の塵埃にまみれさせたくないと思うのは、親として当然の気持ちだ。

四 【畏】

- ア 自然の力を畏れる気持ちがなくすと、たいへんなしつべ返しを食うことになる。
イ 谷口君は、親友というよりは畏友と言ったほうがよい人物だ。

19●二級

問14 ● 解答

- 一 ア…あお
イ…せんどう
二 ア…にじ
イ…しんとう
三 ア…ほこり
イ…じんあい
四 ア…おそ
イ…いゆう

解説

◆漢語の熟語に用いられることの多い漢字の、音と訓を問う問題である。漢字の訓を知ることが意味の理解にもつながることなので、折にふれて覚えるように心がけたい。

……………
一 「煽」の訓は「あおる」で、おだてたりたきつけたりして、人がある行動をするように仕向けること。音は「セン」で、「煽動(する)」「は、煽る」とほぼ同じ意味の熟語。

二 「滲」の訓は「にじむ」で、液体が物にしみて広がること、感情や雰囲気は自然にわき出ること。ほかに「し

みる」という訓もある。音は「シン」で、「滲透(する)」は、液体がしみとおること。比喩的に、考え方などが広い範囲に行き渡ることにも用いる。なお、常用漢字での代用表記で「浸透」とも書く。

三 「埃」の訓は「ほこり／ちり」などで、粉のような細かいごみや塵のこと。問題文は「パソコンがかぶっている」ということで、「ほこり」が適切な読み。「くをかぶる」という比喩的な使い方のときは、「ちり」とは読まない。音は「アイ」で、塵との組み合わせの熟語が「塵埃」。比喩的に、世の中の諸々の汚れや、俗世間的なものをいい、問題文はその意味。

四 「畏」の訓は「おそれる」などで、恐怖するのとは違って、近づきたいものとして畏まり敬う意味。このように「畏」には、「かしこまる」のほか、「かしこ(し)」の訓もある。音は「イ」で、「畏友」は、尊敬している友人のこと。

- 一：若・①
- 二：術・①
- 三：頭・②
- 四：車・②
- 五：善・①

解説

◆四字熟語や成句・慣用句の、適切な用字と意味の理解を問うている問題である。正しい用字を記憶に留めておくことは、思い込みや勘違いでとらえている言葉を正すうえで大切なことである。

一 傍若無人：「傍らに人無きが若し」ということで、人のことをまるで気にかけて自分に勝手な態度をとることを意味する。①が適切。②のように、相手になる者がいないという意味には用いない。

二 權謀術数：「權謀」はその場に応じた策略、「術数」ははかりごと・たくらみの意で、合わせて、巧みに人を欺く策略のことをいう。①が適切。②は、単に「権力」という意味で使おうとしていると思われ不適切。

三 羊頭狗肉：「羊頭を掲げて狗肉を売る」の意で、看板に羊の頭を掲げながら実際には狗の肉を売るというところから、見せかけと内容が違うこと、見かけは立派でも実質がそれに伴わないこと。②が適切。①のように、見事なことに用いるのは誤り。

問15 一〜五のそれぞれの□に入る適切な漢字一字を楷書で書いてください。また、その言葉を適切に用いているほうの文を選んで、番号で答えてください。

20

一 【傍□無人】

- ① 彼女の態度はあまりに傍□無人で、わがままが過ぎる。
- ② 万年最下位のチームが、今年は向かうところ敵なしの勢いで、傍□無人に進撃している。

二 【權謀□数】

- ① 戦国時代、武将たちは戦のみならず、權謀□数をめぐらして覇権を競った。
- ② 三代将軍となった徳川家光は、權謀□数を一身に集め、専制的な政治を行った。

三 【羊□狗肉】

- ① この料理は羊□狗肉の出来ばえで、みごとなものです。
- ② この記事は羊□狗肉というべきで、見出しが派手なだけだ。



五

小人閑居して不善をなす：『礼記』の「大学」にある言葉で、小人（つまらない人物）は、暇でいると善くないことをしがちであるという意味。①が適切。②は「小人」を子供の意味でとらえていて誤り。

四

車軸を流す：雨が非常に激しく降る様子をたとえていう言葉。車軸とは、車輪の中心にある軸（心棒）のことで、雨が車軸のような太い雨足で降る意である。「車軸を下す」ともいう。②が適切で、①のように、川などで激しく水が流れることには用いない。

四【軸を流す】

- ① 数日来続いた大雨により、川は、軸を流すような激流となっていた。
- ② 外は、軸を流すような雨になっていたので、出かけるのはあきらめることにした。

五【小人閑居して不をなす】

- ① 小人閑居して不をなすというから、それなりに忙しいほうが身のためだ。
- ② 小人閑居して不をなすというから、できるだけ母親がそばにいてやるほうがよい。

- 一 ア：③ イ：④
 二 ア：① イ：③
 三 ア：① イ：①
 四 ア：④ イ：③
 五 ア：④ イ：①

◆語の意味に応じた漢字の使い分けを問う問題である。同音の漢字は多数あり、意味に応じて適切に用いなければならぬ。字形が似ていたり意味に共通する面があったりする漢字は特に注意を要する。

一 ア ③ 「閱(覧)」が正答。書物、書類などを調べたり読んだりすること、「名簿を閲覧する」のように言う。
 イ 「謁(見)」が正しいので、④となる。身分の高い人に会うことで、もつとへりくだると「拝謁」になる。

二 ア ① 「(検)索」が正答。データなどを調べて探し出すこと。
 イ ③ 「錯(誤)」が正答。誤り間違えること。「錯」は「あやまる・まじる」という意味をもつ漢字。

三 ア ① 「(野)卑」が正答。言動が下品で、洗練されな感じがしないこと。
 イ ① 「卑(下)」が正答。自分を劣ったものとして卑しめること。

四 ア 「式」(貳)が正しいので、④となる。同様に「一」を「壹」、「三」を「参」、「十」を「拾」などと書くことがあり、これらを「大字」という。

イ ③ 「(僧)尼」が正答。「僧尼」は「僧」と「尼」で男女の出家者のことであるが、「尼僧」というと「尼」と同じことになる。

五 ア ほんの少しの暇まという意味の「(寸)暇」が正しいので、④となる。「寸暇を惜しむ」の形で使われることが多い。

イ ① 「(転)嫁」が正答。自分の過失や罪、責任などを他人になすりつけること。「嫁」には、嫁ぐという意味のほか、このように、罪などをなすりつけるという意味がある。

問16

一〜五のA・Iについて、()に入る漢字として適切なものを、それぞれの【 】から選んで、番号で答えてください。適切なものがないときは、④を選んでください。同じ番号を二回使ってもかまいません。

二級 ● 22

- 一 【①悦 ②越 ③閱 ④適切なものがない】

ア 図書館は、書物を()覧することができる施設だ。
 イ 各国からの使節団が、王宮で国王に()見した。

- 二 【①索 ②搾 ③錯 ④適切なものがない】

ア 現在では、多くの物事の検()にインターネットが利用されている。
 イ どこかで()誤があったのか、計画は最後に来て破綻してしまっ

- 三 【①卑 ②痺 ③碑 ④適切なものがない】

ア 野()な人間と付き合っていると、自分までそうなってしまう。
 イ あまり自分を()下するものではないよ。自信をもちなさい。

四【①仁 ②児 ③尼 ④(適切なものがない)】

ア 領収書や小切手などでは、漢数字の「二」を()と書くことがある。
イ 昔、僧()には、俗人がみだりに近づくものではなかった。

五【①嫁 ②過 ③瑕 ④(適切なものがない)】

ア この半年間、寸()を惜しんで準備を進め、ようやく今日の開店にこぎつけた。
イ 失敗の責任を部下に転()するようなことはやめてほしい。

- 一 …… ③
 二 …… ③
 三 …… ①
 四 …… ④
 五 …… ④

◆表やグラフから読み取れることを記した文章を題材とした問題である。それぞれの小問は、表、グラフから読み取った事柄の正誤を問うているのではなく、読み取ったことをどう表現するのが適切であるかを問うている。文章が、表、グラフのどこに着目し、そこから何を言おうとしているかを理解する「読解力」が必要であり、その上に立って正答を考えることになる。

ここでは、「国民所得額」と「社会保障給付費」、そして、「社会保障給付費」の「国民所得」に対する比率である「対国民所得比」の移り変わりを示した表、グラフを対象として書か

れた文章を取り上げている。

一 「社会保障給付費」の「対国民所得比」の推移は、下のグラフにおいて、折れ線で表されている。一九九二年以降の折れ線は、しだいに上昇していく、だんだん増えていっているという様子であり、③「通増」がふさわしい。「通」は、かわるがわる、次々に、だんだんと、などの意味を表す漢字である。①「加増」は、ふやすこと、特に、領地や禄高をふやすことである。②「微増」は、前に比べて少し数量がふえることであり、一定期間にわたる変化の様子を言うにはふさわしくない。④「激増」は、ふえ方の度合いという観点からすると、「微増」の対義語である。

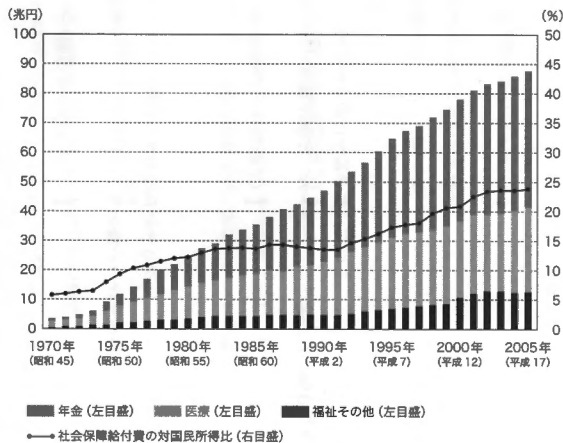
二 国家の社会保障にかかわる政策は人為的であるが、表、グラフに表されている数値は、そうした政策や、景気動向などさまざまな要因が作用し合つての結果である。したがって、国民所得額の伸びが二・三倍に対して、社会保障給付費の対国民所得比の伸びが二・一倍であったことを、他動詞「抑える」や「とどめる」を使って、人為の結果のように言うのはふさわしくない。③「とどまつて」が適切である。

三 この段落では、高齢化がいつそう進むにつれて、数値が今後どのように推移するかを予測している。そして、その際に、団塊の世代の存在を考慮し、社会保障給付費総額、対国民所得比だけでなく、社会保障給付費の内訳にも着目しているのである。二〇〇五年に至る、これらの数値に関する傾向として、既に、次のようなことが読み取れる。

問17
 Aさんが書いた文章です。それぞれの質問に、番号で答えてください。

国民所得額と、社会保障給付費の対国民所得比の動向

	1970年度	1980年度	1990年度	2005年度
国民所得額(兆円)(A)	61.0	203.2	348.3	367.6
社会保障給付費総額(兆円)(B)	3.5(100.0%)	24.8(100.0%)	47.2(100.0%)	87.9(100.0%)
(内訳)年金	0.9(24.3%)	10.5(42.2%)	24.0(50.9%)	46.3(52.7%)
医療	2.1(58.9%)	10.7(43.3%)	18.4(38.9%)	28.1(32.0%)
福祉その他	0.6(16.8%)	3.6(14.5%)	4.8(10.2%)	13.5(15.4%)
社会保障給付費の対国民所得比(B/A)	5.77%	12.19%	13.56%	23.91%



国立社会保障・人口問題研究所「平成17年度社会保障給付費」による。

1970年度と2005年度とを比較してみると、「国民所得額」が61兆円から367兆6千億円へと、約6倍になっているのに対し、「社会保障給付費総額」は3兆5千億円から87兆9千億円へと、約25倍になっている。これの国民にとっての負担を考えるとときには、額とともに、「対国民所得比」を見ることが必要である。1970年度は5.77%にすぎなかったものが、2005年度には23.91%にまでなっている。

対国民所得比の変化を追っていくと、1970年度の5.77%から、1982年度の辺りまで年平均0.6%程度の割合で上昇し、1982年には約14%に到達している。そして、10年間ほどの横ばい状態を経て、1992年度以降（ア）に転じ、1999年度には20%を超え、上昇が続くという経過をたどっている。

同時に、経済成長との関係も考えなければならない。1970年度と1980年度とを比較すると、国民所得額は61兆円から203兆2千億円へと約3.3倍に伸びている。一方、社会保障給付費の対国民所得比は、5.77%から12.19%へと約2.1倍の伸びに「抑えている」。このように、社会保障給付費総額の伸びを上回る国民所得額の伸び、つまり経済成長があれば問題はないであろう。しかし、かつてのような経済成長が見込めない時代に入って、社会保障給付費の対国民所得比が上昇することは、国民にとって大きな負担となる。

高齢化が進む日本の人口構成からすると、（ウ）がさらに大きくなっていくことは（エ）。とりわけ、体力的にはまだまだ元気な、いわゆる団塊の世代の定年退職によって、社会保障給付費に占める年金の給付費の割合がいつそう（オ）。

一 アに入る言葉として適切なものはどれでしょうか。

- ① 加増 ② 微増 ③ 通増 ④ 激増

二 イの言葉遣いは適切でしょうか。適切である場合には①を、適切でない場合には適切なものを②～④から選んでください。

- ① (適切) ② 抑えられている
③ とどまっている ④ とどめられている

三 ウに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 社会保障給付費の対国民所得比
② 医療の給付費の対国民所得比
③ 国民所得に占める年金の給付費
④ 国民所得に占める医療の給付費

四 エに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 避けるべきである ② 避けねばならない
③ 避けたいものである ④ 避けられない

五 オに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 増額される必要があるだろう
② 増大される必要があるだろう
③ 増額することになるだろう
④ 増大することになるだろう

a 社会保障給付費総額の増加、対国民所得比の増大

b (内訳での) 年金の給付費、医療の給付費双方の増加

c (社会保障給付費中に占める割合での) 年金部分の増大と、医療の部分の減少

高齢化に伴うこうした傾向が既に見られ、そこへ団塊の世代の定年退職が来たらどうなるかということである。以上をふまえると、①「社会保障給付費の対国民所得比(の増大)」が当てはまり、それに続けて、団塊の世代の定年退職によってcの傾向がより進むであろうことを述べているという関係になる。②「医療の給付費の対国民所得比」は部分的な事柄であるとともに、cの傾向があることから当てはまらない。また、③④については、「国民所得に占める」となっているので不適切。「社会保障給付費」と「国民所得」との関係は、「比」として扱われている。

四 決して好ましい状況ではないが、政策を一八〇度転換するようなごときでもない限り、高齢化に伴って社会保障給付費が増加するのは必然なのであり、避けられないのである。④「避けられない」が適切で、①～③のような、社会保障給付費が増加していくことに関する自身の考え、評価を述べるような文末はそぐわない。

五 まず、「増額」と「増大」に関しては、「給付費の割合」とあることから、「増額」は不適切である。また、文末に関しては、四同様、避けられないのであって、必要・不必要の問題ではない。したがって、④「増大することになるだろう」が適切である。

- 一 … ①
二 … ③
三 … ②
四 … ③
五 … ①
六 … ②
七 … ③

◆文章の確かな読み取りを通して、文脈に合った語句の選択や文相互の論理的な関係を問うている問題である。文章全体の趣旨を理解するとともに、細部にまで気を配って読むことが必要である。

一 前の文で、プライバシーが守られるべきものであることを強く述べているわけではなく、「しかし」以降の文に主眼がある。したがって、②「それくらい」や③「そこまでして」のように、守られる程度を強調した言い方は不適切で、単に①「そのように」で受けるのが適切である。

★これまでの問題に出てきた内容を含む総合問題です。

問18

次の文章は、「プライバシー」を課題として、ある学生が書いた小論文です。この文章について、後の質問に番号をつけてください。

プライバシーとは、私事のことであり、それは法的権利としても、私生活上の秘密と名譽を第三者に侵されないものとされている。しかし、(ア)守られるべきものであるプライバシーが、加害性を現す場面もある。

この点に関して最近目立つのは、携帯電話による加害行為である。「私事」を拡大して考えれば、それは他者とかかわりのない個人的な事柄のことである。その観点からすれば、たとえ仕事上の利用であるとしても、電車などの公的な空間の中に、同時にいる他者とかかわりのない事柄を持ち込むのは、プライバシーの振りまきである。それによって、その声を聞かされる他者が、精神の平衡を崩してしまう危険さもある。なぜならば、人は公的な場に出るときには、そのような心構えをするからである。これがプライバシーの振りまきによって破られることは、精神的な害を被ることであり、それが突発的にではなく日常的な行為によって与えられるならば、(エ)的な不安を引き起こすことになる。

そして、もし、公的な場に出るための心構えを破られる状態が定着してしまえば、人は初めからそうした心構えを(オ)。そうなれば、公の場というものが成り立たなくなってしまう。これは、(カ)、社会の崩壊である。社会とは、単に複数の人の集まりではなく、場を共有する意識によって成り立つものだからである。この意味で、携帯電話は、単に騒音をまき散らすというレベルを越えて、もつと本質的なところで反社会的とも言うべき存在になりうる道具なのである。

このように携帯電話は重大な加害性を内包しているから、販売に際しては、たばこに付いているような、明確にそのことを記した警告文の表示を義務付けるべきであろう。そして、その文句の中で、(キ)を強く認識させ、それと対比した形で社会性の理念を訴える必要があるのである。

二級 ● 26

二 すぐ後に、これが「プライバシーの振りまきによって破られる」とあることから、直前にある、③「公的な場に出る」(心構え)を指していると取るのが適切である。つまり、電車の中のような公的な場においては、他人どうしが私的な事柄を見聞するようなことはないはずだといった心構えをするということである。

三 「害を」と結び付くから、②「こうむる」が適切で、これを熟語にしたのが「被害」である。「被」は、①「かぶる」とも読めるが、これは水や波を「かぶる」場合や、いわれない罪や借金などを「かぶる」場合に用いる。

四 日常的な行為によって与えられるのであるから、③「恒常(的)」が適切。①「平常」は、事件や故障などがなく、予定どおりに物事が行われている状態のことと、ここには合わない。②「通常」は、「的」を付けた使い方をしない。

五 直前にある「そうした心構え」とは、「公的な場に出るための心構え」である。続く文において「公の場というものが成り立たなくなってしまう」と言い、さらに、その状況を「社会の崩壊」と言っているのだから、そうした心構えが持続する内容である③は合わない。また、②では、続く「そうなれば」が意味不明となる。①「もたなくなるであろう」が適切である。

六 すぐ後が「社会の崩壊である」という短い表現になっており、これで前の長い説明をまとめていたので、②「端

一 アに入る言い方として最も適切なものはどれでしょうか。
〔① そのように ② それくらい ③ そこまでして〕

二 イの「そのような」は何を指しているでしょうか。

〔① その声を聞かされる ② 精神の平衡を崩す ③ 公的な場に出る〕

三 ウの読み方として最も適切なものはどれでしょうか。

〔① かぶる ② こうむる ③ うける〕

四 エに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔① 平常 ② 通常 ③ 恒常〕

五 オに入る言い方として最も適切なものはどれでしょうか。

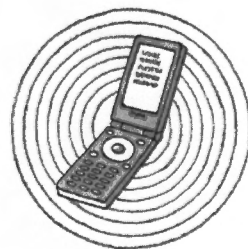
〔① もたなくなるであろう ② もたなくなつてはいけない ③ もち続けようとするだろう〕

六 カに入る言い方として最も適切なものはどれでしょうか。

〔① 附言すれば ② 端的に言つて ③ 立言すれば〕

七 キに入る最も適切な表現はどれでしょうか。

〔① 加害の実状 ② 騒音の程度 ③ プライバシーの概念〕

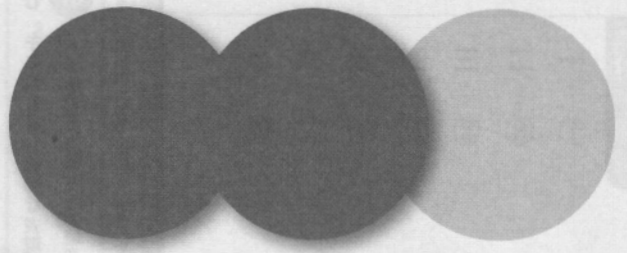


27 ● 二級

的に言つて」が適切である。①の「附言」は、付け加えて言うことなので、不適切。また、③の「立言」は自分の意見を述べることであるが、この部分は意見として述べているのではなく、前のまとめであるから、ふさわしくない。

七 後に「それと対比した形で」とあるので、「社会性の理念」と対比できる事柄が入ることになる。また、この部分は全体のまとめであるから、主題にかかわる事柄が入るのがふさわしい。この二点から、③「プライバシーの概念」が適切である。第一段落冒頭にそれが示されており、文章の初めと終わりが対応しているのも、まとめ方としてふさわしい。





今までの学習の積み取りも通じて、本語の文化・習慣・価値観を
理解するための基礎知識を身につけておくことが、本語検定
試験の合格に大きく役立つ。特に、本語検定試験の合格に
役立つ。

1. 本語検定試験の合格に役立つ
2. 本語検定試験の合格に役立つ
3. 本語検定試験の合格に役立つ
4. 本語検定試験の合格に役立つ
5. 本語検定試験の合格に役立つ

